

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども女性相談課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2384
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ヤングケアラー支援事業		事業期間	令和 4年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本来大人が担うと想定される家事、家族の世話等を日常的に行うことにより、学業や友人関係などに影響が出ているヤングケアラーを早期に発見できるよう周知啓発に努める。				
6年度概要	ヤングケアラー・コーディネーターの配置 訪問支援サービス（家事・育児・同行支援） 小・中・高校生へのリーフレット配布 関係機関への研修による周知啓発				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

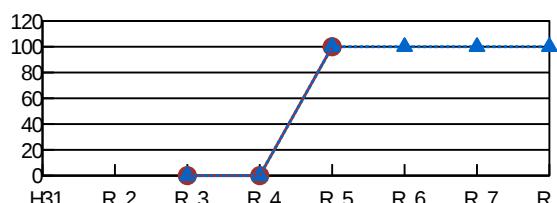
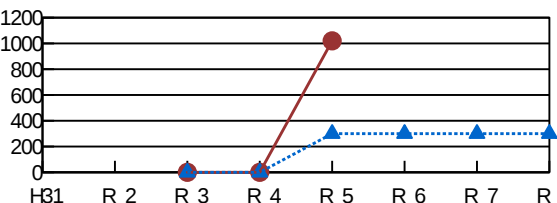
【事業の目的】

対象（何を）	本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っており、責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出ていると思われるヤングケアラー
意図（どのような状態にしたいか）	ケアが必要な家族がいる状況においても、子どもらしく生活できるよう、ヤングケアラーを早期に把握し支援につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	ヤングケアラー対応率	%	目標値	0%	0%	100%	100%	100%
			実績値	0%	0%	100%		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 成果指標の目標値を達成できた。	 (達成度) 100.0% 35点						
								
		(目標達成度)						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	研修会への参加者数	人	目標値	0	0	300	300	300
			実績値	0	0	1,020		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 成果指標の目標値を達成できた。	 (達成度) 340.0% 35点						
								
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	0	0	9,027	12,854
（事業費）	〔円〕	0	0	5,263	9,090
（職員人件費）	〔円〕	0	0	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
ヤングケアラーのさらなる周知・啓発 支援サービスメニューの検討			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
・周知啓発活動の継続と対象拡大 ・同行支援事業の実施 ・支援サービスメニューの検討			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭子育て支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	生後6か月から小学校6年生までの子どもを養育するひとり親家庭を対象に、たかまつファミリー・サポート・センターの利用料金の一部を助成する。（すべてを満たすもの） ・高松市在住で、生後6か月から小学校6年生までの子どもを養育しているひとり親家庭 ・たかまつファミリー・サポート・センターの援助会員登録をしている人 ・市税を滞納していない人				
6年度概要	たかまつファミリー・サポート・センターの利用会員のうち、ひとり親家庭を対象に利用料金（1時間700円）の一部を助成する。 助成額 1時間当たり400円（子ども2人目以降は1時間当たり200円。1か月8,000円を限度に助成。） 市内に事業所又は拠点をもち、ひとり親家庭の心身の健全な発達の向上に寄与する自主的な団体への支援を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

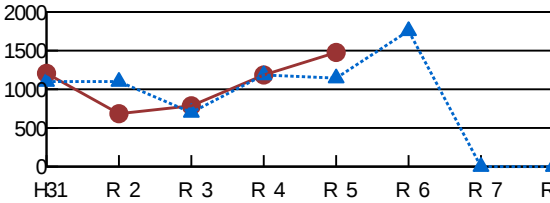
【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親
意図（どのような状態にしたいか）	経済的に不安定な状況におかれているひとり親家庭の、就労支援や育児の負担軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
利用登録者数	人	45	53	63	63	53

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
	利用時間数		時間	目標値	700	1,185	1,144.5	1,756	1,144.5	
				実績値	786.5	1,185	1,476.5			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 利用時間数について、実績値が目標値を上回った。 (目標達成度)									
										(達成度) 129.0%
										35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)									(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	1,854	4,483	4,733	5,165
（事業費）	〔円〕	344	741	969	1,401
（職員人件費）	〔円〕	1,510	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
・ひとり親家庭子育て支援事業は、市単独の事業で実施しており、ロゴフォームを利用しての登録（継続）申請の受付を開始することで、来課する手間を省き、より利用しやすい体制を整えた。 ・ひとり親家庭福祉増進事業は、3団体への補助を予定していたが、2団体から応募があり、2団体に補助をした。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
・ひとり親家庭子育て支援事業は、子育ての援助をしてほしい人と、援助したい人とが会員となる組織（たかまつファミリー・サポート・センター）が行う事業への助成であり、事業対象者の絞り込み等内容の検討は必要であるが、今後も事業を継続する。 ・ひとり親家庭福祉増進事業は、制度の趣旨を広報し、応募団体が増えるよう取り組む必要がある。			

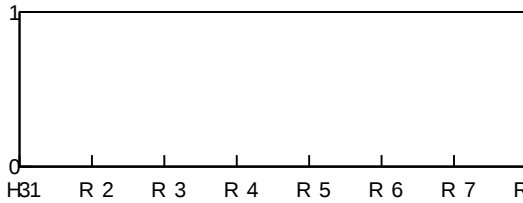
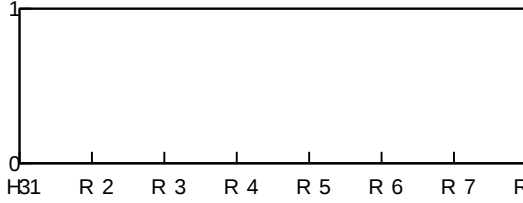
総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭等医療費助成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】					
事業の概要	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子（子は原則18歳年度末まで）を扶養する配偶者のない兄・姉等を対象に県内現物、県外償還で保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成 県費補助対象額の1/2（県制度は自己負担有）				
	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子を扶養する配偶者のない兄・姉等を対象に県内現物、県外償還で保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成 県費補助対象額の1/2（県制度は自己負担有）				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市内在住で保険証を持っている方で母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子、両親のいない子を扶養する配偶者のいない兄・姉等（子は原則18歳年度末まで）
意図（どのような状態にしたいか）	医療費に係る経済的な負担の軽減を図る

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
支払件数	件	137,752	141,624	141,717	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	424,553	448,783	458,160	437,402
（事業費）	〔円〕	407,943	430,073	439,342	418,584
（職員人件費）	〔円〕	16,610	18,710	18,818	18,818

【評価】

評価ランク (A ~ D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
本事業の実施により、ひとり親等の医療費に係る経済的な負担を軽減している。			
【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
所得制限も実施されており、財政的に厳しい状況の中、現状維持が妥当である。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭自立支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ひとり親家庭等の相談に応じ、その自立に必要な情報提供及び指導を行うため、自立支援相談事業として、母子・父子自立支援員を配置する。 また、ひとり親家庭の総合的支援のため、窓口強化事業として就業支援専門員を配置する。				
6年度概要	母子・父子自立支援員（会計年度任用職員）3人により自立支援相談を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

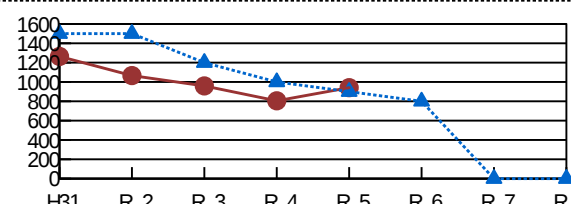
【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭等
意図（どのような状態にしたいか）	ひとり親家庭等の親からの相談に応じ、必要な情報提供及び指導を行い、ひとり親家庭の自立を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
母子自立支援相談件数	件	959	805	941	800	900

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	母子自立支援相談件数	件	目標値	1,200	1,000	900	800	900
		実績値	959	805	941			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	 (達成度) 104.6% 35点						
	自立支援相談件数の増加については、令和4年度より養育費確保支援事業を開始し、特に債務名義取得促進事業における問い合わせが増加したものと考えられる。母子福祉資金等貸付金償還業務を外部委託しており、納付相談の回数は以前に比べ減少しているが、新たに償還を開始する人からの納付に関する問い合わせ等、きめ細やかな対応を行っている。							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	 (達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	14,539	12,847	15,815	17,740
（事業費）	〔円〕	10,764	10,602	12,051	13,976
（職員人件費）	〔円〕	3,775	2,245	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 相談者の相談内容が複合的で、複数の相談課にまたがった場合、どの担当課が主体になるかの調整が課題である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 県やその他機関の実施する自立支援相談員の研修等を受けスキルアップを図りながら相談業務に従事しており、今後も同様に事業を継続することが必要である。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	母子家庭等就業・自立支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「母子家庭等就業・自立支援センター事業」では、NPO法人に業務委託し、離れて暮らす親と子どもの面会交流のための連絡・調整、「ひとり親家庭等日常生活支援事業」では、就労活動や疾病等事由に対し、家庭生活支援員を派遣し、短期間を限度として、一時的な家事・介護等サービス提供事業を、母子・父子福祉団体等に委託する。家庭生活支援員を派遣し、短期間を限度として、その他、「養育費確保支援事業」は、公正証書等の債務名義取得をした方への費用補助を行う事業等を実施している。				
6年度概要	親子（面会）交流支援事業（委託先 NPO法人面会交流支援センター香川） ひとり親家庭等日常生活支援事業（委託先 高松市社会福祉協議会） 養育費等支援事業（弁護士個別相談） 養育費等支援事業（債務名義取得） 養育費等支援事業（保証契約） 就労支援に関するイベントの開催				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

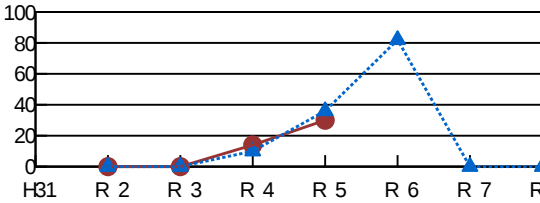
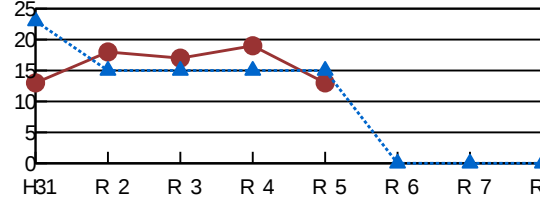
【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親
意図（どのような状態にしたいか）	ひとり親家庭の親の自立支援・就労支援を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
養育費に関する相談件数	件	0	130	104	130	130
家庭生活支援員派遣回数	回	44	84	90	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	債務名義取得促進事業補助件数	件	目標値	0	10	36	82	36
			実績値	0	14	30		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	令和 4 年度より公正証書等の債務名義を取得した方への費用補助の事業を実施している。離婚相談等で養育費に関する相談を受け付けた際に、補助事業があることを伝え、債務名義を取得しやすくなるよう支援を行っている。							（達成度） 83.3% 29点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	ひとり親家庭等日常生活支援事業利用登録者数	人	目標値	15	15	15	0	15
			実績値	17	19	13		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	利用者登録は利用の有無に関わらず継続して登録を行っており、複数年にわたって利用していない者もいたため、令和 2 年度に要綱改正を行った。							（達成度） 86.7% 30点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	4,282	6,423	6,579	9,944
（事業費）	〔円〕	1,262	1,933	2,089	6,180
（職員人件費）	〔円〕	3,020	4,490	4,490	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 令和 4 年度より、養育費確保支援事業を実施し、子どもを養育する同居親等が、養育費に関する取り決めた公正証書等の債務名義を取得した際の補助事業を開始した。メニューが 3 つあるが、令和 4 年度は「債務名義取得促進事業」のみ実績があったが、令和 5 年度では「弁護士による無料相談」及び「養育費保証契約補助事業」においても実績があった。今後も窓口や関係機関への周知を行い、実績の向上に努める。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 日常生活支援事業では、平成 3 0 年度に整理した事業方針及び国の要綱に基づき、事業を運営していく。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭無料職業紹介事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	・自立支援プログラム策定事業 個々の児童扶養手当受給者の状況等に対応した自立支援プログラムを策定し、これに基づき、決め細やかで継続的な就労支援を実施する。 ・ひとり親家庭無料職業紹介事業 こども家庭課内に、職業安定法第 3 3 条の 4 第 1 項の規定による無料職業紹介所を開設し、児童扶養手当資格者に対し、職業紹介や求人情報の提供などを行う。				
6年度概要	母子・父子自立支援プログラム策定員兼就業支援専門員 2 人（会計年度任用職員）を配置し、児童扶養手当受給者等を対象に就労に係るプログラム策定を行う。 また、サポーター企業からの求人を紹介、斡旋するひとり親家庭無料職業紹介を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

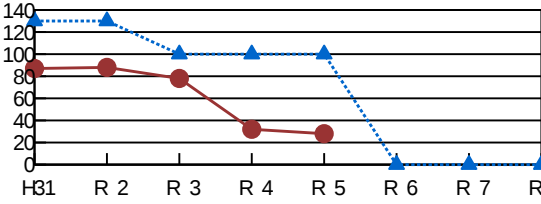
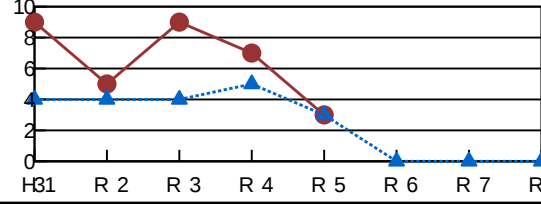
【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親、離婚予定の親等
意図（どのような状態にしたいか）	就職が困難なひとり親家庭の生活の安定と福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
就労相談人数	人	1,181	737	766	0	1,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	自立支援プログラム策定件数	件	目標値	100	100	100	0	100
			実績値	78	32	28		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値に達しなかった。労働市場が売り手市場であり、支援対象数が減少していること、スマートフォン等で、手軽に職探しができる環境が整ってきている等が理由であると思われる。なお、プログラム策定後のアフターケア件数は 3 件であった。							(達成度) 28.0%
								9点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	職業紹介件数	件	目標値	4	5	3	0	3
			実績値	9	7	3		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和 5 年度は当該事業におけるサポーター企業の登録状況の見直しを行うことから、目標値の設定を低くしていた。実績は、目標値と同等であった。							(達成度) 100.0%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	11,885	6,083	6,826	9,873
（事業費）	〔円〕	6,600	4,586	5,321	8,368
（職員人件費）	〔円〕	5,285	1,497	1,505	1,505

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

就労相談件数としては、令和 4 年度実績 7 3 7 件に対し、7 6 6 件と微増した。プログラム策定件数が減少したのは、多くのひとり親家庭は、労働市場が売り手市場であり、支援の必要なく希望者が就労できていること、また、離職時に既に就労していて、就職活動する必要がない人が増加したことなどが考えられる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

売り手市場であったとしても、就労においては不利になる可能性があるひとり親家庭の親の就労支援については一定の需要があるため、事業継続は必要である。

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	運営支援室
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2368
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	発達障がい児等支援事業（運営支援室分）		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園に発達障がい児等支援員を配置し、早期に専門的な保育・教育支援や親子支援を行うとともに、専門家による継続した訪問支援を行い、具体的な指導を行うなど、関係機関と連携しながら適切な支援体制を整備する。				
6年度概要	・公立保育所及びこども園35か所に70人、公立幼稚園18か所に21人、支援員を配置 ・発達障害児等支援体制構築事業 巡回支援員（専任）50施設 150回訪問 報告会の開催（4回）教職員研修の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

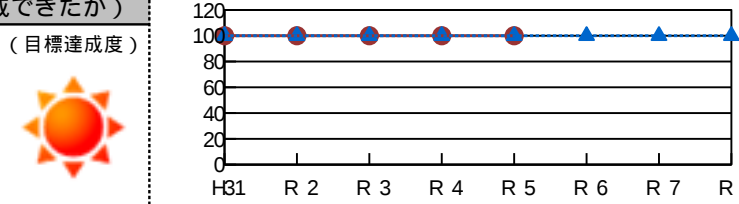
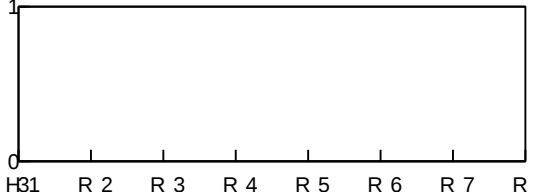
【事業の目的】

対象（何を）	市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園に在園する乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	主に、支援の必要性や緊急性の高い乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
発達障がい児等支援員配置施設数	か所	55	55	55	54	55

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	発達障がい児等支援員配置率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 100.0% 35点
	市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園において、すべての施設について支援員を配置できている。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	108,806	145,146	202,473	355,918
（事業費）	[千円]	107,296	143,649	200,968	354,413
（職員人件費）	[千円]	1,510	1,497	1,505	1,505

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
各施設に支援員を配置し、関係機関等と連携を図りながら、早期に対応することで、支援を必要とする乳幼児一人ひとりのニーズに応じた教育・保育環境を提供することができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
当該事業のうち特に平成 26 年度から実施することになった発達障がい児等支援体制構築事業等の効果を分析し、より効率的な事業運営となるよう取り組みたい。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども保育教育課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2358
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	発達障がい児等支援事業（こども保育教育課分）	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、私立保育所等に対して、要支援児童を保育するための必要な経費の一部を支弁する。				
6年度概要	支弁対象施設 4 1 施設に 1 2 5 人				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）

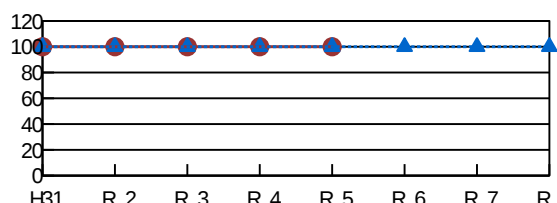
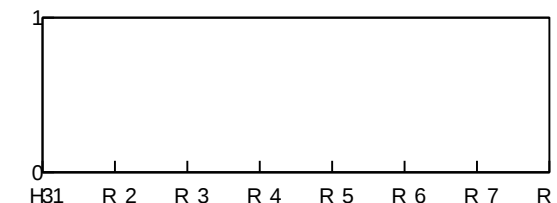
【事業の目的】

対象（何を）	市内の私立保育園、認定こども園及び小規模保育事業所に在園する支援を必要とする乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	主に、支援の必要性のある乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
発達障がい児等受入施設数	か所	46	41	38	41	41

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	発達障がい児等受入率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市内の発達障がい児受入可能な私立保育所、私立認定こども園及び私立小規模保育事業所において、当該施設に入所を希望する発達障がい児を受入できている。 (目標達成度)	 (達成度) 100.0% 35点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	 (達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	22,325	26,741	21,584	31,870
（事業費）	〔円〕	21,570	25,993	20,831	31,117
（職員人件費）	〔円〕	755	748	753	753

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 事業費は前年度比マイナス 5 , 1 6 2 千円と減少傾向にある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後も当該施策の状況を注視し、より効率的な事業となるよう取り組みたい。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-811-2163
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	医療的ケア児支援事業		事業期間	令和 3年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	保育所、こども園、幼稚園、小・中学校、高松一高、放課後児童クラブにおいて集団保育・教育が可能な医療的ケア児を安全に受け入れるため、同施設等における受入体制を整備し、医療的ケア児への医療的支援を実施する。				
6年度概要	・医療的ケア児支援事業 ・医療的ケア運営協議会の開催				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

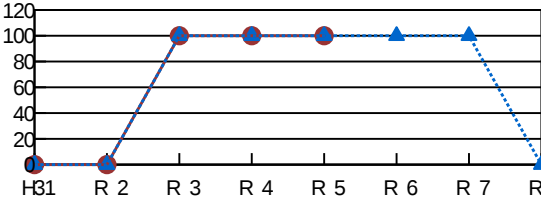
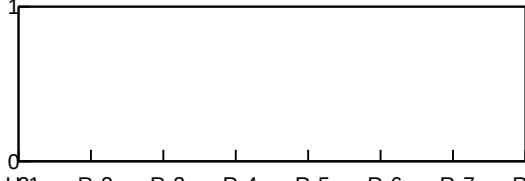
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の保育園（所）、こども園、小規模保育事業所及び事業所内保育事業所、高松市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、放課後児童クラブに通う導尿やインスリン注射等医療的ケアを必要とする児童生徒。
意図（どのような状態にしたいか）	保護者が各施設・学校に赴いて実施していた医療的ケアを、訪問看護師が実施することで、医療的ケア児が安心してきる保育・教育環境づくりを推進し、保護者の負担軽減や医療的ケア児の自立促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
希望者に対して医療的ケアを実施した割合	%	100	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	希望者に対して医療的ケアを実施した割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 医療的ケアが必要と認められた該当者の中で医療的ケアを受けることを希望する者に対して、各施設・学校で看護師の巡回による医療的ケアを目標どおり実施し、教育・保育の充実を図ることができた。  （目標達成度）	 （達成度） 100.0% 35点						
	成果指標名（どのような成果が得られたか） 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標			目標値					
			実績値					
成果指標			 （達成度）					

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	30,276	37,647	41,529	42,531
（事業費）	〔円〕	15,176	15,195	18,948	19,950
（職員人件費）	〔円〕	15,100	22,452	22,581	22,581

【評価】

評価ランク （A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
高松第一高等学校生徒も対象に加え、就学前からの切れ目のない支援体制を構築できている。急に医療的ケアが必要となる対象者が現れることも考えられるので費用的な部分が不安定である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
校医との連携強化により、該当者へのより良い支援体制を構築していくことで、本事業の充実に繋げる。			